

ばらんす

第53号

編集発行

大田原市総合政策部
政策推進課 市民協働係
〒324-8641大田原市本町1丁目4番1号
☎ 0287-23-8715
FAX 0287-23-8748
mail seisakusuishin@city.ohkawara.tochigi.jp



まだ足りない？

男性の家事参加、育児参加を考える



先日、内閣府より2022年度男女共同参画白書が発表され、「人生100年時代における結婚と家族」が特集されました。そのなかでは、家事や介護、育児参加についてインターネットなどで調査し、その結果わかってきたことは、若い世代ほど家事や育児を半分ずつ分担したいと思っているということ。ただ現実には、共働き世帯でも夫の家事育児関連時間は短いという実態があり、国際的にみても妻の無償労働時間が大きいといえます。

その解消には、男性が参加しやすいよう、男性の労働実態や慣行の見直し、環境の整備などが指摘されています。

では大田原の身近な男性たちはどうなのか。聞きとり調査を実施しましたので、男性の家事育児参加の実際のエピソードを、少しだけご紹介しましょう。(記 江馬)

頑張っている男性たちにエール!

お話をお伺いしたのは、20代から60代の男性たち、夫として父として、日々頑張っている姿が見えてきます。お伺いしたのは、年齢、家事・育児での工夫、こだわり、家族に褒められた家事・育児、失敗談等。

子育て現役の時もおむつ交換をしていた。同年代の父親より育児にかかわっていたと思う。3歳までは目を離さないようにしている。何が起きるかわからないから。(60代)

小学校に入学し、できることが増えてきた。子ども用包丁を持たせて実際に調理に参加させている。(20代)

壊れたものを修理した時に、「お父ちゃんが直してくれた」と妻が子どもに伝えてくれている。(40代)

妻がいないときの出来事、チャイルドシートから降ろす時に車のドアを開けたら、子供が飛び出して頭から地面に落ちた。病院にかかってCTなどをとって何でもなかったからよかった。(40代)

育児についてのこだわりは、学校では教育をするけど、家庭では生きる力を教えるところだと思う。いつも「自立」をテーマにしてきた。挨拶をすとか、基本的なことも家の中で「おはよう」「ありがとう」「いただきます」挨拶をすることから始まると思う。(30代)

朝、掃除機をかけて、皿洗い、洗濯、子どもと風呂に入る、年子の二人とも入れる。特に皿洗いは自分の仕事である。妻は手荒れがひどいので、手袋をつけてやっている。ステロイドをつけるほど、手荒れがひどいので。(30代)

料理へのこだわり：地元の食材を使うようにしている。(40代)

掃除(模様替え)が終わらなくて、夕飯が遅くなった。外食になった。(40代)

乳幼児の洗濯物に自分の物を混ぜて気づかずに洗濯してしまい、妻に怒られてしまいました。(40代)





社会福祉法人エルム福祉会 理事
hikari no café ゼネラルマネージャー

川上 聖子さん

SHOKO KAWAKAMI



2021年12月、「第22回 ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を受賞されました。
2019年には「栃木で輝く女性20人」にも選出されています。
そんな川上聖子さんインタビューさせていただきました。

※ヤマト福祉財団小倉昌男賞…障がい者の自立支援に著しく貢献した人の中から毎年2名を選んで表彰するもの

藤沼 この度の受賞、おめでとうござい
ます。県内初の受賞者、ということでは、
私たち大田原市民にとりまして誇ら
しいと申しますか、嬉しい限りです。
ところで、川上さんはなぜ「障がい
者の働く場」にこだわり、ヒカリノカ
フェ (hikari no café) を、展開され
たのでしょうか？

川上 38年前に両親が「エルム共同作
業所」を立ち上げました。自立した生
活をするためには、「働いて、稼ぐ訓練
が必要」という父親の意思を受け継い
で、障がい者の住まいの場としてグルー
プホームを立ち上げました。自立する
には、生活基盤が大切だからです。

二〇〇五年にヒカリノカフェ本店を
オープン、二〇一六年廃校となった校舎
を活用してヒカリノカフェ蜂巢小珈琲店
を、二〇一九年には市役所本庁舎1階に
市庁舎店を開店させていただきました。市
員や市民の方に親しんで頂いています。

藤沼 お父様は（楡井氏）、教員の頃
から障がい者教育にお力を注がれて、
54歳で退職されて、退職金を投じて、
大田原で初めて障がい者のための「エ
ルム共同作業所」を立ち上げられたそ
うですね。川上さんはそのご意思を受
け継がれて活動なさっているのですか。
何人くらいの方が関わっておられるの
ですか。

川上 現在 hikari no café 事業（カ

フェ、クッキー、スイーツ、パン製造）
に関わっている知的や精神の障がい
があるスタッフは約90人です。地域の方
と関わることによって、相互理解に繋
がればと考えています。

藤沼 蜂巢小珈琲店では手作りパン、
地元の野菜、古代米などを使ったラン
チはおしゃれで人気があつて、予約し
て伺わないといっぱいになつてしま
うと聞いています。また「ヒカリ」の意
味などありましたら。

川上 おかげさまで年間3万人を超え
る方にご利用いただいています。

「ヒカリ」は当時入院中の父が「障が
いの方が働く姿を見ることによつて、
まわりの意識も変わってくる。障がい
者が地域を照らすヒカリとなつてほし
い」と。そこから名づけました。

**障がい者の方が幸せになる姿を地域
の方と一緒に応援したい**

川上 カフェを始めたのはパンやお菓
子を作る人、接客、販売をする人みん
なが一人一人力を出し、協力し合つてや
りたい仕事で生き生きと活躍できる事
業にしたかったのです。

亡くなった母の障がい者に寄り添う
姿が私の中で思っています。
やってみたいという強い気持ちがあ
ればきつとかなえられる。人生を開い
ていき、幸せをつかんでいくみなさん

の姿を見ることが私たち支援者にとつ
て最大の喜びです。

藤沼 今後の展望について考えておら
れることがありましたら。

川上 障がい者の働く場を増やし、一
般就労にもどんどん送り出していきたい
と考えています。また、一般就労の
難しい方には、施設就労で、生活が支
えられるよう、より高い工賃支給を目
指すとともに、「hikari no café」ブ
ランド（＝信用）を推進させていきたく
いと思っています。

川上さんは、満面の笑みでそう話さ
れました。ちなみに賞金一〇〇万円は
全額「エルム福祉会」にご寄付なさつ
たそうです。こんなに素敵な輝く女性
が大田原市におられるのです。取材を
終えて、温かい気持ちにさせられま
した。（記 藤沼）



古代米を使った人気のランチ

キャリアデザイン講座

「笑顔はピンチをチャンスに変えてくれる」



講師：株式会社 前田牧場 専務取締役 前田智恵子 さん

日程：令和 4 年 6 月 1 日（水）

対象：大田原女子高等学校 1、2 年生 400 名

6 月 1 日、大田原女子高等学校において、前田さんをお招きしてキャリアデザイン講座が開催されました。この講座は働くことや生きがいの探求がテーマです。

そこで今回、前田さんが現在大田原で家族で牧場経営をするまでの経験をお話下さいました。前田さんは、幼い時を常に牛舎で過ごした生い立ちや、好きではなかった牛肉が大好きになったことも、現在の仕事が好きになった理由であると語られました。様々な経験から、人生には困難がつきものであり、それを前提に生きていくこと、しかし困難なことがあってもそれを転機ととらえ、周囲に助けられながら乗り切った経験を話されました。困難を乗り切るヒントとして、笑顔で過ごす大切さや、感謝の心をもち、「ありがとう」という言葉を常に伝えることの大切さを語られました。困った時は、周囲に SOS を出すと手を差し伸べてくれる人が必ずいることなど、社会のあたたかさについても触れられました。BSE（狂牛病）など牛を育てることの大変さや、風評被害なども含めた牛の売買をめぐる経済の浮き沈みなどの困難がある中、常に助けてくれる人に笑顔でこたえ、家族とともにピンチを乗り越えてきたということです。

またご家族の病気などが転機となり、家族関係を見直すことや改めて自分を振り返ることの大切さを語られました。家族関係の振り返りは、まさに牧場運営の大きな転機となり、自身の成長に繋がる出来事であったと述べられました。（記 鈴木）

生徒の感想

- 助けを求めれば、仲間は助けてくれることや笑顔の大切さなど、これからの人生に欠かせない大切なポイントを改めて教えていただけて、とてもよかった。
- チャンスを逃がさず成功した人はすごいと思った。人間関係をよくしていこうと思った。
- 自分が他の人と接するためには、「笑顔で自分から」という言葉がひびきました。私は初めての人と話すのが苦手です。いつも相手から来るのを待っていました。でも今日の講話を聞いて、待つのではなく自分からいかなくてはと思いました。受け身の自分を変えていこうと思います。
- 「人生は山あり谷あり」ということがよくわかりました。笑顔でいることはとてもいいことなのだと思います。自分も笑顔を心がけて生活したいと思います。
- 前田さん誕生から直売開始までの流れを知ることができ、少しのきっかけで人は一歩前に進むことができ、日々の日常生活で気を遣うだけで自分の環境も変化することがわかりました。



まずは、話してみませんか？

知っていますか？

～AV出演被害問題～

AV出演被害防止・救済法が成立し、AV出演契約を取り消したり、販売や配信を停止できるようになりました。一人で悩まず、すぐに御相談下さい。

詳しくはこちら

AV出演被害
防止・救済法



相談先はこちら

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター **#8891**

DVのお悩み、ひとりで抱えていませんか？

～恋人や配偶者からの暴力に関する相談～

電話で
相談

DV相談ナビ **#8008**

電話・メール
・チャットで
相談

DV相談+（プラス）

0120-279-889



ばらんす掲示板

令和4年度大田原市男女共同参画推進事業者表彰

市では積極的に男女共同参画推進に取り組んでいる事業者を募集し、表彰いたします。表彰の対象となる取り組み

- 性別にとられない能力活用又は女性の職域拡大のための取り組み
- 仕事及び家庭生活その他活動との両立を支援するための取り組み
- 男女の人権に配慮し、男女が共に働きやすい職場の環境づくりのための取り組み
- その他男女が共に参画できる社会づくりに向けた取り組み

募集期間

令和4年11月1日(火)～30日(水)

※対象や応募方法等の詳細は、市HPに掲載しています。
※受賞事業者の取り組みをぜひご覧ください。



ご応募お待ちしております。



令和4年度
募集HP



令和2年度
受賞事業者



令和3年度
受賞事業者

お問い合わせ先：政策推進課市民協働係 ☎23-8715

編集後記

生国・薩摩の国では、男女のタライと物干し竿が厳として区別されていた。戦後、これは改善すべき悪習として、婦人会が懸命に活動していた。

現代では、自分の下着を娘のものと一緒に洗濯すると怒られる。疑問を発すると「それとこれは違う話！」らしい。アレー？

おっと洗濯終了ランプが点滅している。
さて、きれいにしわを伸ばして干さなくちゃ。

(記 岩元)

編集委員 (五十音順)

天沼明美 荒牧孝道 岩元利孝
江馬久美 藤沼久子

国際医療福祉大学大学院助産学分野

鈴木由美 森越美香 沼澤広子

問い合わせ

政策推進課市民協働係
☎23-8715